

謝辞

本研究を進めるにあたり、指導教官である早稲田大学人間科学部・野呂影勇教授には、研究当初からのご指導のみならず、国際学会を始め数々の学会に参加する貴重な機会を与えていただきました。厚く御礼申し上げます。

副査の早稲田大学人間科学部・比企静雄教授，同大学同学部・藤本浩志助教授，ならびに神奈川工科大学工学部・石井博章教授には、論文の執筆においてご多用中にもかかわらず、親身かつ的確なご指導をいただきました。心より御礼申し上げます。

早稲田大学人間科学部・佐古順彦教授には音環境の評価について，同大学同学部・石田敏郎教授には自動車運転環境の評価について，同大学同学部・野嶋栄一郎教授には学習効果に関して快く相談に乗っていただき、有益なご助言をいただきました。深く感謝申し上げます。

早稲田大学国際情報通信研究センター・河合隆史助教授には研究開始当時，立体音響をテーマに選ぶ貴重なきっかけを与えていただきました。深く感謝申し上げます。神奈川工科大学工学部・井上哲理助教授には、研究機材をはじめ現在の研究基盤を得るための様々なご助力をいただきました。深く感謝申し上げます。同大学同学部・安塚俊行教授には、実験計画法，統計処理について数多くの貴重なご助言・ご指導をいただきました。深く感謝申し上げます。東京都立大学文学部・市原茂教授および北川智利博士には、人間の記憶や注意に関する議論に快く応じてくださり，多くの貴重なご助言をいただきました。深く感謝申し上げます。神奈川工科大学情報工学部・西村広光博士には、情報工学の立場から貴重なご意見をいただきました。西村博士との議論によって，多くの新しい視座を得ることができました。記して感謝いたします。

早稲田大学人間科学研究科・境薫さん（現富士通株式会社総合デザインセンター），同大同研究科・大杉淳さん（現パイオニア株式会社）は研究当初から共同で進行にあたって下さいました。両名との出会いがなければ，本研究の前進はありえなかったでしょう。記して感謝いたします。

本研究におけるデータ収集の多くは早稲田大学人間科学部（当時）・近江真也さん，鈴木文人さん，服部ゆい子さん，角岡三奈美さんの不眠不休の助力によって得ることができました。また，実験シミュレータの作成では神奈川工科大学情報工学研究科・山口俊光さん，同大工学部（当時）・及川幸一さん，同大同学部・菅沢直人さんの献身的な尽力に負うところ大でした。工学院大学工学部・山中晋さん（現ヤマハ株式会社）には，無響室におけるHRTFの測定で大変お世話になりました。城一裕さん（現IBM）にはsonificationに関する貴重な資料のご提供をいただき，大変お世話になりました。ここに記して皆様に深く感謝いたします。

本研究は多くの実験の繰り返しによって生まれました。実験に協力していただいた被験者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

早稲田大学人間科学部野呂研究室の友人の皆様と共にした苦楽は，本研究にとって大きな原動力となりました。ありがとうございました。

最後に，ともすれば道草しがちな私を長い目で暖かく見守り続けてくれた両親・弟と，不規則な生活を気遣いここまで支えてくれた妻・裕美子に感謝の気持ちを捧げます。